

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 山内
日 時	平成30年8月21日(火)		開 議 午前10時00分
			閉 議 午前10時25分
出席委員	◎奥野 ○三上 田中 竹田 小松 福井		
執行機関出席者			
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長		
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・ <input type="checkbox"/> 否	市民 2名	報道関係者 0名 議員 1名(山本)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

(事務局日程説明)

2 事務事業評価対象事業の選定

<奥野委員長>

前回、各委員に事務事業評価対象事業の抽出をお願いした。

今回は、その対象事業を報告いただき、選定のうえ事業項目の決定を行う。

それでは、各委員から抽出した事業とその理由、論点とされたい点などを報告願う。

<福井委員>

「平成29年度一般会計当初予算(案)施策の概要」教育部のP8、学校運営経費(中学校費)「選択制デリバリー弁当導入経費」で、デリバリー弁当を試験的に導入したことについて、その経過や結果と、今後のめざすべき方向性を聞いた上で、論点として、中学校給食の本格導入に向けた考え方について、確認していきたい。

<田中委員>

生涯学習部のP4、「文化センター運営経費」について、平成29年度は、施設の管理運営に関して一般質問でも取り上げられていたが、とりわけ人権福祉センターの運営に関して、NPO法人との関係について、実態をどのように把握して管理運営がなされているのか、きっちりとする必要があると考えるので、この項目を挙げたい。

<竹田委員>

教育部のP6・P11、「学びを支える教育推進経費」(小学校費・中学校費)について、当初は支援学級に通う児童・生徒の日常生活の支援ということであったが、他の学級にも広げるということで支援員を増やしていただいていた経過がある。

現状として支援員が不十分であるという保護者からの声がある中で、財源のこともあって一気に増やせないということもあると思うが、現状で充足しているのか、今後、どのように進めていくのかといったことを検証してはどうかと考える。

<小松委員>

総務部のP12、「災害対策経費」について、最近の異常気象や地震に対して、防災計画の見直しも含めて、対応できているのか聞いていきたい。

また、防災行政無線について災害時の運用状況や、府市共同備蓄の現状についても確認したい。

<奥野委員長>

今のところ、事務事業評価対象事業として4項目を挙げていただいているが、分科会としては3項目程度となっているので、どのようにさせていただいたらよいか。

<竹田委員>

私の挙げた項目は、取り下げさせてもらってもよい。

<三上副委員長>

竹田委員の方で取り下げられるということだが、大事な項目だと思う。

<田中委員>

1つの項目の評価を時間的に短くすることにして、4項目とも挙げてはどうか。

<福井委員>

4項目でよいのではないか。

<奥野委員長>

それでは、4項目とさせていただくことでよいか。

— 全員了 —

<奥野委員長>

次に、決算審査にあたって、現地視察の実施について意見を伺いたい。

<福井委員>

西豎町で整備中の移住・定住促進施設について、オープンを間近に控えて、現地を確認したい。

<竹田委員>

防災無線に関して、実際の運用について、防災無線室で説明を聞きたい。

<奥野委員長>

以上の2箇所でよいか。

— 全員了 —

3 その他

(1) 次回の日程について

<奥野委員長>

次回の日程については、9月14日（金）午前10時からの、9月議会 常任委員会の議案審査後として、執行部から提出される事務事業評価調書に基づき、事前の論点整理を行いたいと考えているので、よろしく願います。

散会 ～10:25